

令和3年度 災害廃棄物処理担当者向け勉強会 (近畿ブロック 第2回)

日時：令和3年12月24日（金）
13：30～16：30

場所：AP大阪茶屋町 Aルーム
(オンライン同時配信)

プログラム

◆主催者あいさつ（13:30～13:35）

環境省近畿地方環境事務所 資源循環課 課長 山根 正慎

◆講演 1 （13:35～14:25）

◇休憩10分

◆講演 2 （14:35～16:25）

◆閉会 （16:25～16:30）

講演概要

◆講演 1 （13:35～14:25 ※質疑応答5分含む）（講演 50分）

「災害廃棄物アプリを用いた研修」

浅利 美鈴氏（京都大学大学院 地球環境学堂 准教授）

益田 明奈氏（京都大学大学院 地球環境学堂 教務補佐員）

<講演概要>

発災時の災害廃棄物の処理を担う自治体のご担当者には、実際の災害現場の実務経験や処理実績を持つ方は多くなく、災害廃棄物処理の流れや、具体的な対応の理解には繰り返し研修を行うなどする必要があります。

京都大学大学院が開発した災害廃棄物アプリを用いた研修を実施する。

◆講演 2 （14:35～16:25 ※質疑応答5分含む）（講演 90分）

「災害廃棄物処理における災害ボランティアとの連携」

明城 徹也氏（特定非営利活動法人 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク 事務局長）

<講演概要>

災害廃棄物の処理には住民の理解と協力はもとより、宅地からの撤去や集積所等への運搬などを支援する“災害ボランティア”の重要性が増している。災害支援の経験豊富なNPOなどの活動も含めて、被災者に寄り添いながら自発的に支援を行う“災害ボランティア”についての理解を深め、近年の災害対応の事例等も交えながら具体的に解説する。

主催：環境省近畿地方環境事務所